

28. 性腺外胚細胞腫

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり ×: なし

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ						
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容					
			状況				治療内容	治療実績	医師の専門分野				
1	呼吸器内科	11	8	状況	×	×	×	最新の治療を心がけつつも、患者さんに近い医療を目指しています。	ア	http://			
				実績	なし	なし	なし		イ	http://			
2	呼吸器外科	5	5	状況	○	○	×	病状に合わせて最適な治療を、患者さんとよく相談して行ないます。肺癌などに対して外科的治療を含めた集学的治療を行ないます。	ア	http://			
				実績	あり	あり	なし		イ	http://			
3	放射線科	8	2	状況	×	×	○	放射線治療とは、臓器を守りながら「がん細胞」に放射線を照射し、縮小させる治療法のことです。様々な療法がありますが、各診療科医師と協同してその時に最適な放射線治療を行うようしております。	ア	http://			
				実績	なし	なし	なし		イ	http://			
4	泌尿器科	5	3	状況	○	○	×	手術・化学療法・放射線療法を組み合わせ、患者さんに合った治療を行います。	ア	http://			
				実績	あり	あり	なし		イ	http://			
5				状況					ア	http://			
				実績					イ	http://			

例: 性腺外胚細胞腫 性腺外胚細胞腫 性腺外胚細胞腫	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日
----------------------------------	------------------------------------